

改定概要

小型のICT建設機械も対象

- 掘削工・作業土工(床掘)・法面工で適用を拡大

掘削

現行	改定	適用条件
山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	1,000m ³ 以上
—	山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	1,000m ³ 未満
—	山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	100m ³ 程度まで

作業土工(床掘)

現行	改定	適用条件
山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	平均施工幅 2m以上
—	山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	平均施工幅 2m未満
—	山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	平均施工幅 1m未満

法面整形

現行	改定	適用条件
山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	盛土量又は切土量 1,000m ³ 以上
—	山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	盛土量又は切土量 1,000m ³ 未満

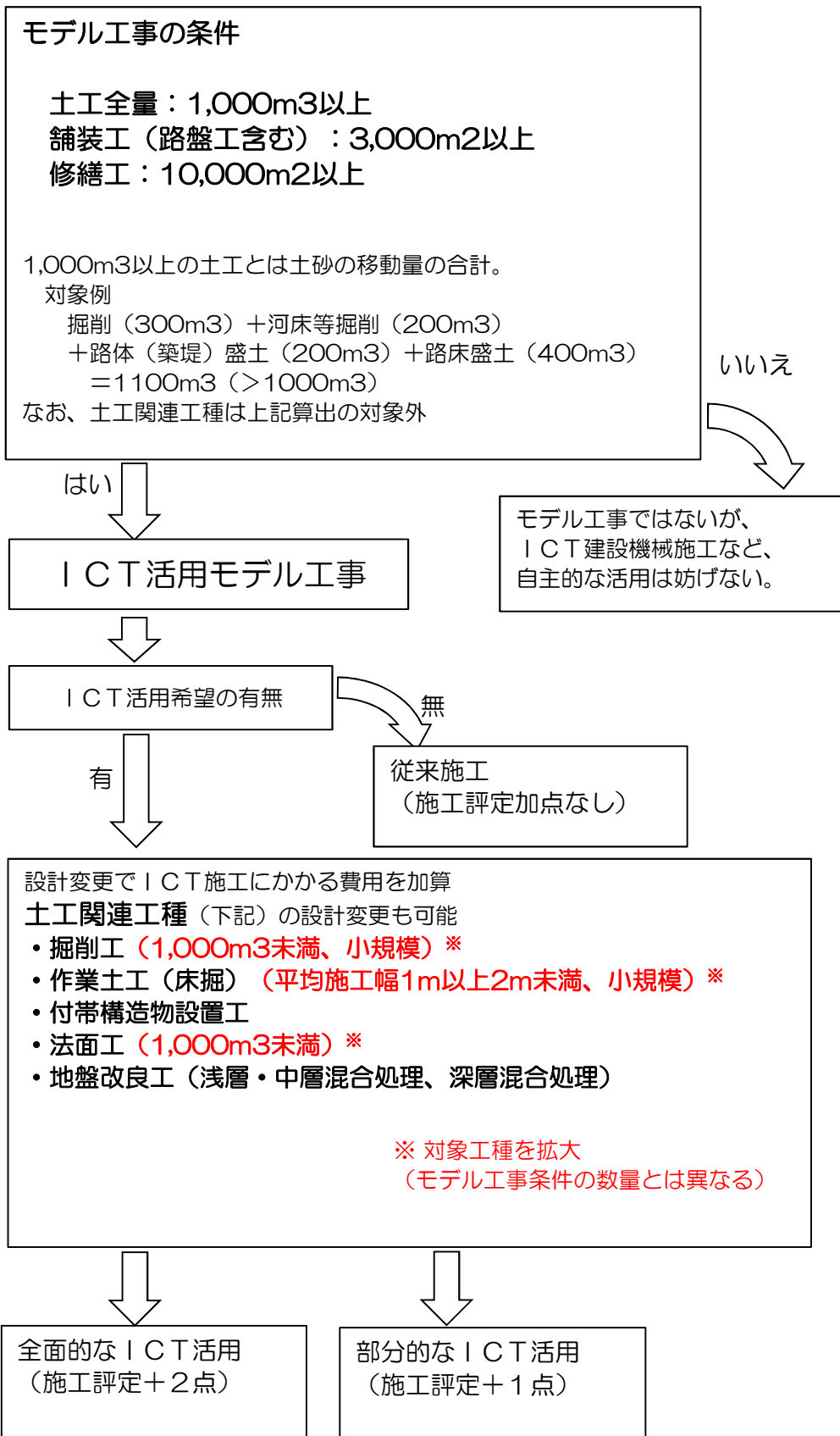
空港工事

- 空港工事における土工・舗装工をICT活用工事対象として追加

適用日

- 令和4年(2022年)10月1日以降公告を行う工事より適用

ICTモデル工事の選定

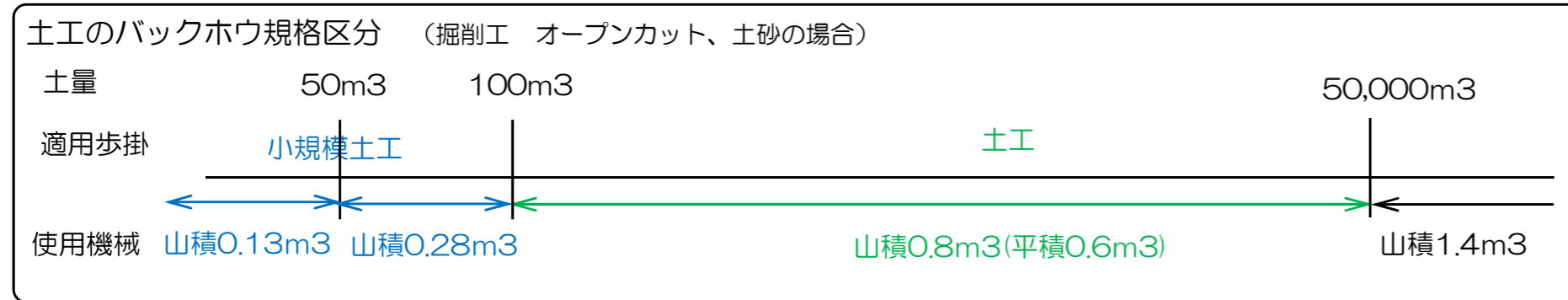


ICT使用機種規格（バックホウ）と適用工種

ICT使用機種規格 (バックホウ(クローラ型))	工種種別	細 別	施工条件	備 考		
山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	土工 法面工	掘削	対象数量： ・各項目 土工1,000m ³ 以上	盛土量 切土量		
		盛土法面整形 切土法面整形				
	作業土工	作業土工(床掘)	・施工幅2m以上			
山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	土工 法面工	オープンカット(バックホウ掘削) 片切掘削(人力併用機械掘削)	対象数量： ・各数量 土工1,000m ³ 未満	盛土量 切土量		
		盛土法面整形 切土法面整形				
	作業土工	作業土工(床掘)	・施工幅2m未満			
山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	小規模土工	掘削積込 舗装版破碎積込 床掘 埋戻(はねつけ) 運搬	対象数量： ・各項目 100m ³ 程度まで 又は ・施工幅1m未満			
		作業土工			作業土工(床掘)	

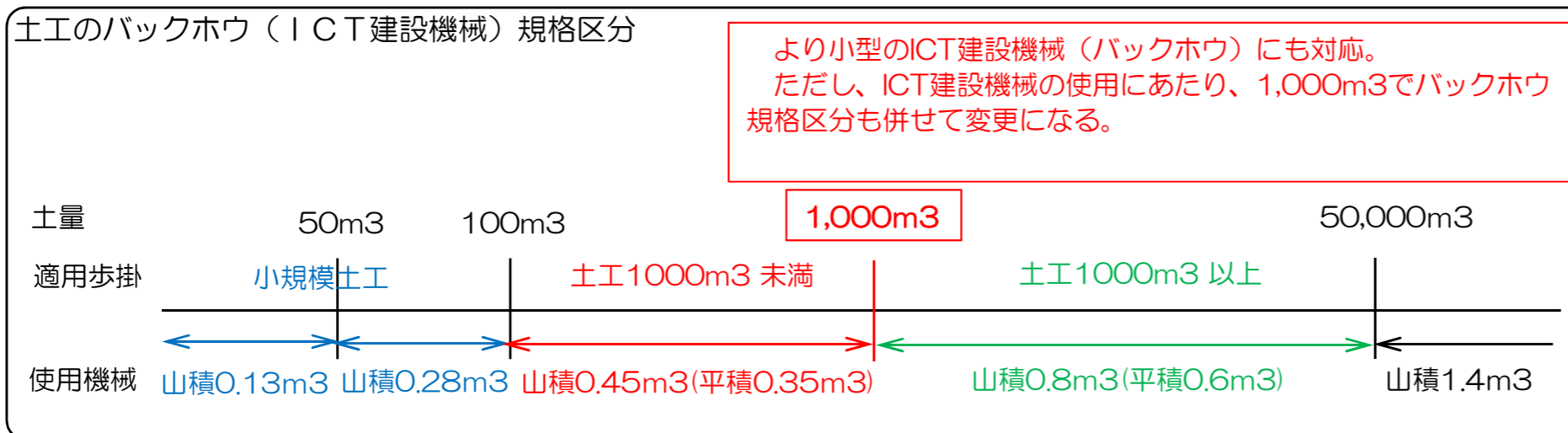
掘削（ICT使用機種規格（バックホウ）適用機種）

従来施工

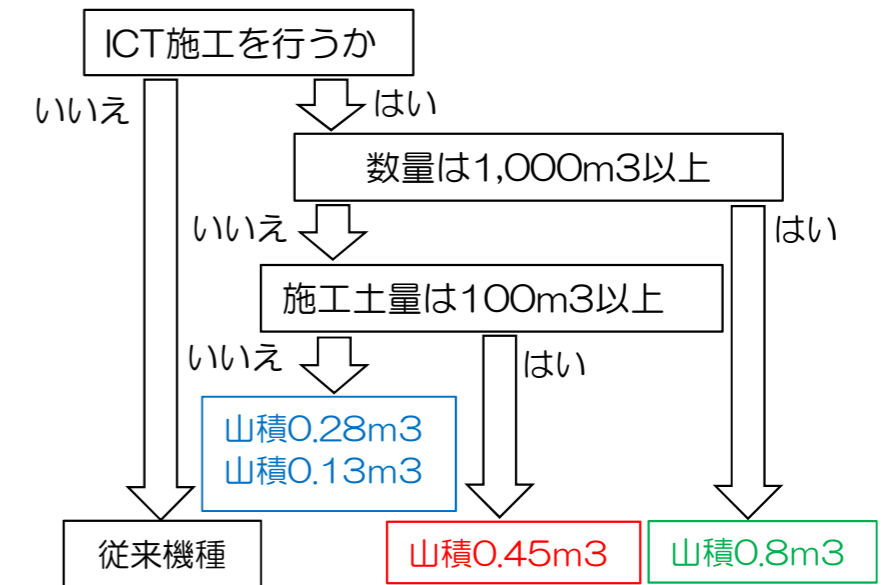


ICT建設機械を使用

ICT施工



掘削（ICT施工） 検討フロー



※) 盛土法面整形は盛土量で
切土法面整形は切土量で判定する。

ケース1

設計数量

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
掘削	900 m ³	バックホウ 0.45m ³	土工(1000m ³ 未満)を適用 当初設計から機種変更あり
路体(築堤)盛土	1,000 m ³	ブルドーザ 7t	
路床盛土	600 m ³	ブルドーザ 7t	

ICT対象土量 2,500 m³ →ICT活用対象工事(土工全量:1,000m³以上)



土工関連工種(上記数量土工の合計がICT活用工事対象となった場合、設計変更可能)

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
盛土法面整形	200 m ²	バックホウ 0.8m ³	土工(1000m ³ 以上)を適用 (盛土量が1,600m ³ のため)
切土法面整形	1,100 m ²	バックホウ 0.45m ³	土工(1000m ³ 未満)を適用 (切土量が900m ³ のため)

ケース2

設計数量

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
掘削	1,200 m ³	バックホウ 0.8m ³	土工(1000m ³ 以上)を適用
路体(築堤)盛土	200 m ³	ブルドーザ 7t	
路床盛土	100 m ³	ブルドーザ 7t	

ICT対象土量 1,500 m³ →ICT活用対象工事(土工全量:1,000m³以上)



土工関連工種(上記数量土工の合計がICT活用工事対象となった場合、設計変更可能)

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
切土法面整形	500 m ²	バックホウ 0.8m ³	土工(1000m ³ 以上)を適用 (切土量が1,200m ³ のため)
作業土工(床掘)	30 m ³	バックホウ 0.28m ³	小規模土工を適用 (施工幅1m未満)
地盤改良工 (中層混合処理)	30 m ³	40t級バックホウ (ベースマシン)	

ケース3

設計数量

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
掘削	900 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外
下層路盤(車道・路肩部)	3,500 m ²	モータグレーダ	
凍上抑制層(車道)	2,900 m ²	モータグレーダ	

ICT対象土量 3,500 m³ →ICT活用対象工事(舗装工全量:3,000m²以上)
(投影面積)



土工関連工種(上記数量土工の合計がICT活用工事対象となった場合、設計変更可能)

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
盛土法面整形	200 m ²	ICT補正対象外	ICT補正対象外
作業土工(床掘)	1,100 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外

ケース4

設計数量

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
掘削	200 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外
路体(築堤)盛土	200 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外
路床盛土	100 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外

ICT対象土量 500 m³ →ICT活用対象外工事(土工全量:1,000m³以下)



土工関連工種(上記数量土工の合計がICT活用工事対象となった場合、設計変更可能)

細別	数量	ICT使用機種	積算方法
作業土工(床掘)	1,100 m ³	ICT補正対象外	ICT補正対象外